

も た に 母谷たつ のり 後援会だより

平成15年(2003年) 7 月 Vol.12

発 行 母谷たつ のりを育てる会

編 集 岡 田 孝



市 政 報 告

謹啓

梅雨前線の活躍もほぼ終盤を迎え夏本番がもうすぐそこまで来ています。

皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今春実施されました統一地方選挙の広島市議会議員選挙において再選を果たすことができましたことは皆様方の温かいご支援の賜と心より感謝いたします。

心からお礼申し上げますとともに皆様方のご期待に添えるよう、さらなる努力と精進を誓い2期目のスタートをさせていただきます。

5月14日から3日間、臨時議会が開催され、新しい議長に浅尾幸正氏(中区)が、副議長に月村俊雄氏(西区)が選出されました。また、6月24日から7月4日まで改選後初の定例会が開催され、一般会計補正予算案をはじめとする予算案2件、条例案7件、その他の議案6件で合計15件の議案と併せて7件の報告がなされました。

以下その主なものについて報告いたします。

まず、一般会計補正予算案のうち広島高速交通株式会社(アストラムライン)が平成14年度決算において債務超過に陥

ったことからその経営改善策として日本政策投資銀行から融資を受けている長期借入金の低金利への借り換え資金として、この繰り上げ償還を行うための205億3,342万5千円を一時貸付金として計上いたしました。

経営計画、需要予測の甘さに加え経営陣の責任問題や後の経営健全化計画に非難が集中いたしました。現時点で1日当たりの輸送人員5万人規模の公共交通機関を破綻させることはできないことから救済措置を講ずることになったものであります。

また、深刻な交通渋滞の緩和策として山陽自動車道の廿日市ICから志和IC間、広島高速1号線、4号線、草津沼田有料道路を対象路線とした朝のピーク時における社会実験に要する費用6,400万円を計上いたしました。これは10月ごろから概ね3ヶ月間、通常料金の半額(草津沼田有料道路は無料)を割引き、その効果を検証するものであります。

次に、たばこの吸い殻、空き缶等のばい捨て、飼い犬の糞の不回収、落書き等美観を害する行為及び喫煙により他人の身体を害する行為の防止に関する条例

(広島市ばい捨て等の防止に関する条例)を罰則付きで可決いたしました。実施は来年1月1日からとなります。この条例制定に伴う市民PRやばい捨て防止の指導に要する費用を3,353万2千円計上いたしました。禁止区域や美観地域の決定にはもう少し時間がかかりそうです。

これら主な3点を含めた6月補正予算の合計は212億3,708万2千円となり、補正後における全会計の予算規模は1兆1,385億2,222万5千円となりました。

私は、改選後初の今議会でも早速一般質問に立ち、佐伯区住民の我々にとって重要課題である西広島バイパスの交通渋滞緩和策、すなわち観音高架の延伸工事についてであります。これは昨年末突如としてその2期工事がストップされたことから秋葉市長の政治姿勢を正すとともにその真相を追求いたしました。質問内容は次ページ以降に示しておりますがこの問題は社会的反響も大きく、6月27日のRCC中国放送が「中村克洋のごジレ。」で大きく取り上げて、その質問風景が放映されました。

私は引き続きこの問題解決に向け最大限の努力を傾注するとともに観音高架の延伸工事を早期に完成させ、平野町交差点までの全線開通を目指して参りたいと考えております。

今後とも皆様方の御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。市政報告とさせていただきます。

謹白

広島市議会議員 母 谷 龍 典



西広島バイパスは広島都市圏でも屈指の渋滞箇所です(西区田方付近)

広島佐伯リトルリーグ選手募集

あいさつがきちんとでき、最後まで頑張れる選手を目指すというリーグの指導方針のもと、小学生5年生から幼稚園児の子供12名(マイナーリーグ)が元気よく大好きな野球に打ち込んでいます。

無類の野球好きで、子供好きの佐々井監督の熱血指導で、選手たちもメキメキと上達し、7月の大会に向け優勝目指して頑張っています。

こんな私たちのチームですが、目下の課題は選手不足です。大会を前にすると、子供たちの体調管理に細心の注意を払い試合当日全員が揃うまでハラハラドキド

キの連続です。何より、子供達が安心して試合に臨めるためにも、是非とも選手を増やしたいのです。

野球好きな子供さん、野球をしてみたいと思っているお父さん、お母さん、私達と野球という素晴らしいスポーツで汗を流しませんか。練習場所は佐伯区石内南第3公園(広島市運転免許証センター下)で行っています。お気軽にいらしてください。



マイナークラス



メジャークラス

広島佐伯リトルリーグマイナークラス事務局

連絡先 082-927-4605

090-8065-5570 (高山まで)

※全日本リトル野球協会 中国連盟のホームページでもご覧になれます。

http://www.litj-chugoku.org/little_11.html

母谷たつ のり 事務所ができました

〒731-5114

広島市佐伯区美鈴が丘西五丁目17番12号

E-mail mokkun@cc22.ne.jp

http://www.motani.jp

☎FAX 082-929-9002

お気軽にお越しください。



こんなにきれいになりました



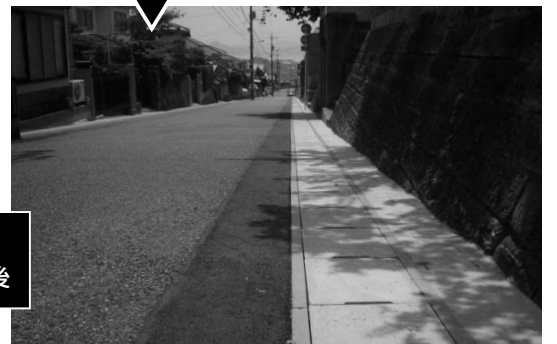
河内地区道路整備工事 工事着手前



河内地区道路整備工事 工事着後



薬師が丘団地内道路 整備工事 工事着手前



薬師が丘団地内道路 整備工事 工事着後

母谷たつ のり 連絡先

広島市佐伯区美鈴が丘西五丁目17番12号

E-mail mokkun@cc22.ne.jp

☎929-9002

FAX 929-9002

市議会

☎504-2443

FAX 244-1419

広島市議会ホームページ http://www.city.hiroshima.jp/gikai/index.html

いい汗流そう!! いい笑顔つくろう!!

母谷議員 一般質問 国道2号西広島バイパス観音高架延伸工事

突然の工事ストップ

西広島バイパスの慢性的渋滞の解消に向けた緩和策について広島市西部地域、とりわけ佐伯区住民の我々にとっては永年の悲願であります。思い起こせば初当選直後の平成11年6月の第3回定例会でこの問題を取り上げ、草津沼田有料道路の無料化や高速3号線をはじめとする指定都市高速道路の進捗状況についてお尋ねするとともに「西広島バイパスの渋滞に巻き込まれないようにお弁当を朝と昼の二つ持って出勤するんだ」という住民の方の切実な生の声を反映して一般質問で訴えたことが、つい昨日のこのように思い出されます。

その後ようやく25年ぶりに再開された高架の延伸工事で第1期工事の観音本町から広島県医師会館地先までの400mが本年10月までに完成する見通しとなっていますが第2期工事に着手するギリギリの昨年11月末、広島市は国土交通省広島国道工事事務所に対して突然の工事延期を申し入れました。事業主体である国が予算化し、本市も平成14年度予算に11億円を計上しながらストップをかけた秋葉市長のこの行為を「**反社会的決断と行動**」と言わずして何と言うのでありましょか!!

この決断と行動によって渋滞解消に思い



旭橋西詰交差点付近（街路上り線より東側を望む）

を寄せる多くの広島市民が夢を打ち砕かれ、広島市とその周辺の主要渋滞ポイント13ヶ所に与えた影響と責任は重大であります。加えて広島における都市機能の充実を大幅に遅延させたことは確実であり、その経済的損失や逸失利益は計り知れないものがあると思います。

さらに申しあげれば、こうした広島市民の願いを国政に届けようと永年にわたり努力を積み重ねてきた市議会議員や議会には一切の説明も無く市長の独断と偏見によって決断、行動されたことは誠に遺憾であり、由々しき問題であります。

市長としてこの決断に至った経緯と真意について正直に判り易くご説明いただきたいと思います。

秋葉市長の背信行為

また、平成6年11月に広島・廿日市両市など周辺自治体の首長と議会の議長が中心となり「**国道2号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会**」が立ち上げられました。秋葉市長におかれましては平成11年2月の市長初当選以来、この期成同盟会会長に就任しておられます。爾来、毎年にもわって「**西広島バイパス高架建設促進に関する意見書**」として国の関係機関に働きかけ、昨年の7月18日には国土交通省中国地方整備局と広島国道工事事務所へ、さらに7月23日には国土交通省、財務省の本省および関係国会議員に対して西広島バイパス高架事業の早期完成について要望し、同年11月25日と12月3日にも同様の活動をしておられます。

その意見書として提出された内容の一部

をご紹介しますと思います。それは前文の終わりのところでありますがそこを朗読いたしますとこのように書いてあります。

「つきましては、地元におきましても可能な限りの努力を惜しまないところでございますので、国におかれましては、下記の項目について格別の御配慮を賜り、西広島バイパス高架事業の早期完成を図られるようよろしくお願いいたします。」とあって記以下8項目が記されており、最後には期成同盟会会長 広島市長 秋葉忠利となっております。

そこでお尋ねいたしますが、11月25日には従来どおり国土交通省中国地方整備局と広島国道工事事務所へ意見書として取りまとめ、高架建設促進の働きかけをしておきながら直後の11月末には“高架延伸ストップ宣言”であります。それから3日後の12月3日、今度は国土交通省と財務省の本省および関係国会議員に対し、また要望活動を行っておられます。全く支離滅裂と言うほかありませんが、一体何を考え行動しようとしているのか私には理解できません。何故このようなチグハグなことになってしまったのか判り易くご説明いただきたいと思います。こんなわがまま勝手なことを国が黙認してくれるとはとても思えないのでありますが如何でしょうか？

また、西広島バイパス観音高架延伸工事



市役所前交差点付近（街路下り線より西側を望む）



観音ONランプ付近（街路下り線より東側を望む）

のストップは永年、会長として意見書を取りまとめてきた広島市としての立場から言えば余りにも矛盾した決断と行動ではなかったのでしょうか？

周辺自治体が一致協力してその実現性を模索する中、会長職である広島市がこのような態度では期成同盟会そのものの存在意義が問われかねませんが当局のご見解をお尋ねいたします。

住民合意とは何か？

今日の事態に至ったその原因を考えると、住民合意という点について従来に比べ考え方に大きな隔たりがあるように思います。

まずそのひとつは、新聞報道では昨年4月24日から5月14日にかけて沿線住民を対象に2期工事の説明会並びに意見聴取会を8ヶ所で行っておられます。その結果、1会場で平均15人、延べ126人の住民が参加されたようですがこの報道に間違いは無いのか伺います。

参加しなかった住民の多くは推進を望んでいると解釈する国と1会場で平均15人しか参加しなかった人数が少ないので問題だとする広島市との間で、異なる受け止め方をしたものであります。

従来こういった趣旨の説明会を開催した場合の行政判断は、参加しなかった住民に対しては、その案件を肯定するメッセージ

として受け止め、その立場で事業の推進に努めてこられたのではないのでしょうか。

今回の場合も従来と同様の判断をされるのが自然だと思いますが、何故、今回の場合は住民説明会ならびに意見聴取会への参加者人数が少ないことを理由に住民合意が不十分と判断されたのか当局の見解を伺います。

ふたつめはこの住民説明会ならびに意見聴取会の結果に国と市の双方に温度差が生じていることを踏まえて、昨年の夏に広島市西部地域を中心に国が行ったアンケート調査では87%が2期工事の早期実施を要望する結果が出ております。しかしながら広島市の判断は11月末日、「住民合意を得る時間がほしい」という結論から着工延期となったものであります。

この二つの状況から住民合意が形成されていないと判断するのはかなり不自然であると言わねばなりません、秋葉市長の住民合意とはどのような状況に至ったとき住民合意が形成されたと判断されるのでしょうかお尋ねいたします。

また、判断材料とする手法に変化があり、今回から解釈の仕方も変えられたのでしょうか。

地方中枢都市を比較する場合、よく「札幌仙広福」と言われますが他の都市でこのような事業を進めるときは100%賛成で反対は0という中で工事は進められたのでしょうか。特に福岡市などはそうした市長さんの英断とリーダーシップと将来ビジョンが苦難を乗り越えさせる大きな原動力となり、今日の繁栄を築いているのではないかと思います。

今後において、着工を延期した高架延伸の2期工事着手は何時頃を想定して作業を進めておられるのか伺います。



観音本町交差点付近（街路上り線より東側を望む）

又、広島市としては工事再開に向けどのような努力と策を講じておられるのか的確にお答えください。

今後の行方と市長の責任

今回の秋葉市長による独断と偏見によって行われた決断と行動は先にも述べたとおり、都市機能の充実を大幅に遅らせただけに留まらず、その経済的損失や逸失利益の大きさと併せて国と広島市における、その関係修復に相当な時間を要するのではないかと危惧されています。

巷の噂では「秋葉さんが市長のうちは2度と国の予算はつかない」とまで言われているのを貴方はご存知でしょうか？

この問題は国土交通省だけに留まらず全省庁の官僚に噂が広まり政府内部へも波紋を広げているということを貴方は知っておくべきであります。かつて衆議院議員であった貴方ならこのようなことが解らないはずもないと思いますがこの責任は極めて重大であります。

貴方の一言で、これまで努力を積み重ねてきた多くの関係者が夢と苦労を水泡に帰したということを理解していただけないのは誠に残念であります。

この他に貨物ヤード跡地の活用策についても質問いたしましたが紙面の都合で掲載いたしておりません。

国道2号が変わります。街の交通がスムーズになり沿道の環境が良くなります。

